

ご存知ですか？ - 笠間市ゆかりの偉人 -

親鸞聖人が本拠を構えたことから、今の笠間市稲田は、浄土真宗発祥の地とされ、別格本山・西念寺があります。笠間には、親鸞伝説が数多く残されています。



しんらんしょうにん
親鸞聖人
(1173年～1262年)

狩野派の奥義を学んだ武山は、岡倉天心、横山大観とともに創作活動に励みます。第1回文部省美術展覧会に出品した「阿房劫火」が入賞。高野山金堂壁画をはじめ、笠間にある大日堂の壁画制作に情熱を捧げました。



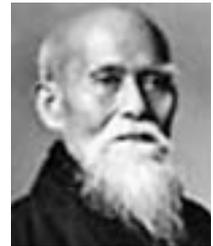
きむら ぶざん
木村 武山
(1876年～1942年)

笠間藩士の五男として誕生した小野友五郎は、そのたぐいまれな算術(和算)の才能を買われ、24歳の時に幕府から江戸屋敷勤務を命ぜられました。数々の業績を残し、勘定奉行にまで出世しました。



おの ともごろう
小野 友五郎
(1817年～1898年)

合気道の創始者植芝盛平翁は、昭和17年、笠間市(旧岩間町)に移り住みました。たゆまぬ求道鍛錬の結果得たものは、体を鍛え技を磨くことによって、気と心を鍛え、平和と愛の力、すなわち真の和を求めようとする合気精神でした。



うえしば もりへい
植芝 盛平
(1883年～1969年)

ロシア正教宣教師ニコライの洗礼を受け入信し、ロシアのペテルブルグの修道院でイコン画(聖画)の修行を開始。イコン画家として、聖堂に多くのイコン画を描きました。



やました りん
山下 りん
(1857年～1939年)

数々の名曲を作ってきた昭和の歌謡詩人。作詞・高野公男、作曲・船村徹のコンビで作られた作品のうち、大ヒットとなったのが、名曲『別れの一本杉(昭和30年)』です。笠間工芸の丘にその歌碑があります。



たかの きみお
高野 公男
(1930年～1956年)

さかもと きゅう
坂本 九(1941年～1985年)

「九ちゃん」の愛称で親まれた昭和の人気歌手。日米でミリオンセラーとなった『上を向いて歩こう』は世界中の人々に愛された名曲です。戦時中、笠間の親戚宅へ疎開し、少年時代を笠間の自然とともに育んできました。柏木由紀子さんとの結婚式は笠間稲荷神社で挙げました。